

第305回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年2月24日（月）午前11時00分～
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 裕介
報道部長	羽田 朗
事務局	紫竹 聡子 水野 明子

- 五輪競技の技術的な部分も細やかに説明があって、わかりやすかった。
- 選手の幼少のころの秘蔵映像もあり、選手がいかに子供のころから努力していたかがよくわかった。選手のストイックな面も伝わってきて共感できた。
- 選手本人や家族との信頼関係を築きながら、取材をしてきたことがよく伝わってきた。
- 地元選手の幼少の映像が世界へ発信されるような、地元ならではの取材が今後も続いてほしいと感じた。
- 地元選手の活躍で感動や喜びを共有できたが、それは選手たちの汗や涙の物語を知ってこそ。ローカルメディアがこうした報道をすることで、選手の努力や苦勞が伝わり、盛り上がるのだと感じた。
- 清水選手の取材は、家族の物語としても非常に興味深かった。全国ニュースで見られないような貴重な映像が多く、面白く見ることができた。
- 五輪後に、もう一度、再編集して放送してほしいと感じた。実際、大会後に事後特番を予定していると聞いて楽しみである。
- 新潟だけの放送ではもったいないと思う映像が多くあった。
- 全体的に取材が丁寧で、メリハリのきいた番組構成は良かった。
- スノーボードハーフパイプの技の名称や技術、プロ契約の実態なども知ることができて興味深かった。
- 選手のインタビュー時期や、番組映像の時制でわかりづらい部分があった。
- 県勢選手が出場した競技で、世界からどんな強豪選手と一緒に戦うのかといった情報も欲しかった。

- パラリンピックにも触れてほしかった。
- 幼少の頃から天才少年と言われていただろう選手たちを、ずっと地元の報道機関が取材し続けていたということに感動した。

。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1月……147件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年1月27日)から昨日(平成26年2月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回、第304回審議会では、「絶品！海の宝石箱を目指せ！！冬の日本海 女子アナおもてなしバスツアー」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第305回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのT e N Yホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 1月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 1月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（2/3、2/13）

以上